

第 11 回 N P T 再検討会議サイドイベント
“Taking Stock of the NPT:
Achievements, Persistent Challenges, and Emerging Opportunities” 開催要領
「NPT の現状を振り返る：これまでの成果、依然として残る課題、そして新たな機会」

1 目的

N P T 再検討会議の成果は、これまで最終文書採択によって評価されることが多かったが、近年はコンセンサス形成が困難となり、その採択が難しい状況が続いている。

本サイドイベントでは、N P T の三本柱（核不拡散、原子力の平和的利用、核軍縮）及びそれを支える「グラント・バーゲン(包括的合意)」の考え方に焦点を当て、これまでの再検討プロセスにおける取組の成果と課題を振り返るとともに、N P T が今後も国際社会において意義ある枠組みであり続けるための方策について議論する。

2 日時

令和 8 年（2026 年）4 月 29 日（水） 10：15～11：45

3 会場

国連本部 Conference Room A

4 主催

平和首長会議

5 共催

UNIDIR（国連軍縮研究所）

6 モデレーター

UNIDIR 所長 ロビン・ガイス

7 次第

(1) 開会

(2) 開会挨拶

平和首長会議会長（広島市長） 松井 一實

(3) プレゼンテーション

ア 核不拡散（発表者：UNIDIR 中東非大量破壊兵器地帯プロジェクト主任 チェン・ザック・ケイン）

イ 原子力の平和的利用（発表者：広島市立大学広島平和研究所講師 大下隼）

ウ 核軍縮（発表者：平和首長会議名誉顧問 ランディ・ライデル）

(4) ディスカッション

(5) モデレーターによるまとめ

(6) 閉会

8 その他

進行は英語で行う。ただし、質疑応答において日本語で発言する者がいる場合は逐次通訳で対応する。